



ふれあい まつり を開催しました



去る10月6日(水)、三重病院恒例の「ふれあい祭り」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、昨年は開催できなかったふれあい祭りですが、今年は「他病棟の患者さんや院外の方との接触はさけつつ、なるべく人とのふれあいを楽しんでいただこう」という趣旨のもと、実行委員が数名のグループに分かれて、各病棟の食堂やベッドサイドを訪問させていただくかたちでの開催となりました。

大会議室で行った開会式では、菅実行委員長の挨拶のあと、ふれあい音楽隊の演奏を各病棟に生配信しました。ふれあい音楽隊は看護職員や事務職員、療育スタッフなど院内の職員で構成し、リコーダーや鍵盤ハーモニカに加えて、有志で横笛を吹いてくださった看護師さんと一緒に、「銀河鉄道999」「まっかな秋」「パンダうさぎ



コアラ」の3曲を演奏しました。途中で実行委員が歌で参加したり、パンダ・うさぎ・コアラの着ぐるみも登場したりして、賑やかなステージになりました。開

会式の様子は録画して再配信を行い、授業や移動等で生配信を見られなかった患者さんにも好評でした(配信や運営にご尽力いただいた事務部の方に感謝です)。

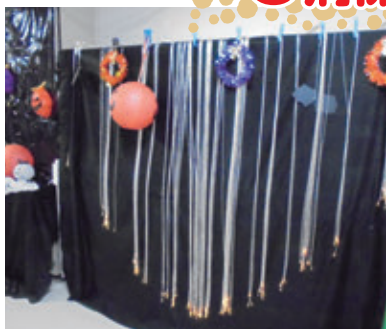
病棟訪問では、食堂に集まった患者さん達と干本引きや着ぐるみじゃんけん大会を行いました。ベッドサイド訪問では、着ぐるみと写真を撮りくじ紐引きにも挑戦していただきました。短い時間でしたが、お一人お一人の患者さんと関わることができて、実行委員にとってとても有意義な時間だったようでした。

来年こそ青空のもと、ご家族や地域の方も含めて、みんなで「ふれあい祭り」を楽しめたらいいなあと思います。ご協力いただいた院内各部署の皆様、ありがとうございました。

(療育指導室長
村松 順子)



5病棟の生活のひとコマ 69



今回は、5病棟プレイルーム内にあるスヌーズレンのお部屋を紹介します。9・10月のテーマは「ハロウィン」。お部屋の中にはお化けやかぼちゃの置物がたくさん飾ってあったり、オレンジ色の光が部屋中に照らされていてとても幻想的です。装飾だけでなく、ハロウィンらしい独特な音楽や、部屋中に漂う甘いお菓子の香りなど、全身でハロウィンを体感することができます。スヌーズレンのお部屋は2か月ごとに入れ替えをしており、季節に合わせた飾り付けを行っています。5病棟に来られた際は、ぜひスヌーズレンのお部屋も覗いてみてください。楽しい世界観を味わうことができますよ。

(児童指導員 森 日奈子)

やまばとギャラリー 情報コーナー information



今月の展示作品は「びりびりアート」です。新聞紙や包装紙を自由にちぎって貼り、オリンピック・パラリンピック競技のマークを作りました。皆さん難しいテーマに苦戦しながらも一生懸命に制作していました。個性豊かで素敵な作品ができあがったので、是非やまばとギャラリーでご覧ください！ (児童指導員 森 日奈子)

